

<h1>月報</h1>	<p>日本キリスト改革派 横浜中央教会</p>	<p>2013年8月11日 8月号</p>
-------------	-----------------------------	---------------------------

## 連合長老会執事会に参加して

C.Y

先の6月30日に連合長老会、執事会が東京恩寵教会にて開催されました。今回のテーマは「日本キリスト改革派教会、統合会計基準の作成について」大会予算調整委員会から勝田台教会の宮本長老を講師に行われました。内容につきましては教会員の皆様には少し難しいかも知れませんが、①課題点と②私の感想をのべさせていただきます。

- ① 大会の委員会では現在、業者に依頼して簡単に出来る会計ソフトを開発中です。このソフトを使い教会ごとに異なる勘定科目を統一しようとする試みです。どれだけ違うのか?。例えば、湘南恩寵教会では「図書、研究費」という勘定科目があります。私たちの教会でいう「販売図書収入(収入)+研究費、図書費、販売図書購入(支出)」のことではないかと思えます。わたしたちの勘定科目「牧師館管理費」どうなりますか。年間1万円いくらかいかないかの「礼典費」「事務費」もどのように取り扱われることか、「礼典費」は「礼拝関係費」「事務費」は「雑費」にて処理している教会もあるでしょう。このように教会によって異なる勘定科目を毎年大会の委員の方々には各教会の年報を基に一覧表を大会の用意した勘定科目に当てはめて金額を合わせたり、分割したりという作業を行っていると思われます。この作業は大変ご苦労されていると思われます。このことからわたしも出来るだけ協力していきたいとおもいますが、私たちの教会の勘定科目は教会員の皆様にわかり易いと思つて今に至つてます。教会の独自性と大会との統一性がこれからまだまだ話し合われていくと思ひます。
- ② 感想としましては、会計ソフトも全てにおいてこれからだと思ひます。はじめの一步がスタートした感じだす。複式簿記を採用とのことだす但建物、自動車など高額資産の原価償却は記載せずと簿価のままというのが理解出来ませんでした。質疑応答で統合に対する根本から批判的な意見も出されました。見たところ、執事でなく長老の方で執事職を兼任しているのかなと思ひました。人材の不足している教会になると会計を執事が取りまどめるのでなく長老が行っている教会も少なくない聞いています。それらのことも考へて進めていかないといけないと思ひます。

## 「夏休みの宿題」

K.S

小学生になって初めての夏休みを娘と過ごしています。  
夏休みと言えば、「夏休みの宿題」がつきもの。  
どの程度のボリュームなのかとドキドキしましたが、こくご・さんすうのプリントが合計で15枚程度と絵日記2枚。  
あら、意外と少ないなあ、とホッとしたのも束の間。。。曲者が待っていました。

「自由研究。1点以上」

この「以上」て何？以上って！？と、他のママさんたちとざわめきました。

先輩ママの話を見ると、どうやらこれを真に受けて1点のみで提出するのはごく少数なんだとか。。。いや、その少数になってもいいかな？とは思えど、そう言われると少なくとも2点は出さねばならぬのか？と思うのが親心。

先生からは「親が頑張らないでください。お子さんが『やりたい』と思える物に導いてあげてください」と。

1年生を導くのに、親が頑張らずしてそう簡単にはいきませんが？と、ママたちの胸によぎったのは言うまでもありません。

自分の夏休みを思い出してみました。

確かにありました、自由研究。

私の両親は日々多忙を極めておりましたので、当然ながら「宿題を手伝う」といった観念がありません。

なので小学校低学年でも必死に自力で頑張った記憶しがなく。。。しかもあまりにお粗末すぎた内容ゆえに、自由研究に何をしたかは覚えておらず。。。

娘に何をさせようかと、夏休みの宿題に対して親が憂鬱になっています。

とはいえ今どきはインターネットの時代。

世の中には自由研究が得意だけでなく、その過程や成果をUPしてくれる親御さんが山のようにいるわけです。

娘が自ら考えた自由研究をひとつ、私が自力で考えた自由研究をひとつ、そしてネットからひとつ拝借。。。すべて娘が「うん、やりたい！」となったものなので、導いたことにはなるのかな？と。

今はまだ1年生ゆえ、いくら親が提案したものとはいえ「自力で出来る事」も容易です。これが学年が進むにつれて困難を極めることとなるのでしょう。

今から来年の夏休みに向けてプランを立てようか、と日常のあらゆる場面で「自由研究」を意識するのもいいかもしれませんね。

高学年になるころには、すべてを自力で出来るようになってもらいたいものです。